

内灘海岸・放水路回遊空間整備構想（素案）に対するパブリックコメントの実施結果について

募集期間：令和 7 年 6 月 20 日～7 月 18 日

意見提出：5 件

No.	ページ	提出された意見	町の考え方
1	－	海岸清掃や海岸整備のための管理棟の設置を盛り込んでほしい。	賑わい拠点施設の中に、海岸清掃等に必要な設備等を付帯させることを検討していきます。
	－	グランピングやキャンプについて砂浜が敬遠される点について対策はあるか。	グランピング施設やキャンプ場等については、飛砂や風等の対策も考慮し、適切な場所での整備を検討していきます。
	－	せっかくの眺望が防風林で活かされていない。	防風林の有する機能を確保しながら、眺望面の配慮に努めてまいります。
	－	能登ドライブの起点として、給油を含め買い物等の調達の利便性を図り、ガソリンスタンドを町営とし、利益を管理費用の負担を減らして継続可能な構想としてほしい。	民間活力の活用も含めて、利便性を図るうえで、管理費用に充当するための仕組みについて検討していきます。
2	－	レンタサイクルを内灘駅・内灘海岸・道の駅・サイクリングターミナル・河北潟の真ん中等に設置する。	レンタサイクルについては、内灘駅前観光案内所及びサイクリングターミナル横の県立自転車競技場で貸出が行われており、設置場所の拡大に向けて検討していきます。
	－	内灘海岸から放水路までの海岸沿いの道を整備して蓮湖渚公園までの回遊路を整備する。	本構想（素案）の中でそのような回遊路の整備を示しております。
	－	サンセットブリッジから放水路に向かって、放水路をまたぐところに、ジップライン、道の駅に大型のブランコ、サンセットブリッジに小型のバンジージャンプ等を整備し、インフルエンサーを活用して発信してはどうか。	本構想（素案）の中で、ジップラインを案として示しております。大型のブランコや小型のバンジージャンプについても、安全面等を考慮し整備に向けて検討し、実現した場合には広く情報発信に努めてまいります。
3	－	サーフィンについて、地形が悪く波が立たないポイントは浚渫工事して、良い波が発生するように整備してほしい。	ご意見として承ります。各種レジャーの環境向上については課題として認識しております。

No.	ページ	提出された意見	町の考え方
	ー	温泉スタンドの復活、シャワーやトイレの追加、駐車場やWeb カメラを増設してほしい。また、スケボーやSUP、釣り、キャンプなどを楽しめる施設・場所を整備してほしい。	付帯設備も含め、各種レジャー施設の整備について検討していきます。
	ー	サーフィンや SUP、釣りの大会やスクールを実施、町内の学校にも積極的に参加してもらい、海や放水路が身近な存在になってほしい。	各種大会の開催（誘致）やスクールの実施に際しては、町内外の皆様が参加しやすく、海や放水路に親しみをもつていただけるように配慮してまいります。
	ー	ツール・ド・のとのスタート・ゴール地点は無理か。参加者の宿泊だけでも。	ご意見として承ります。グランピング施設やキャンプ場等の宿泊施設の整備を検討していきます。
	ー	海岸のゴミを使ったアート作品の大会を開催してほしい。地引き網、魚をとるだけでなく料理して食べる場所までイベントでやってほしい。	多様な大会（イベント等）の開催促進について、誘致や運営方法も含めて検討していきます。
4	ー	町の玄関口である内灘駅を起点とした回遊ルートや町民が利用しやすいアクセスルートを整備するとともに、車に頼らない多様なモビリティ（レンタサイクルの充実等）が海岸エリアのスポットへと人を呼び込むようにする。	ルート整備にあたり、車以外にも海岸や河北潟放水路周辺を楽しめるような多様なモビリティの導入を検討していきます。
	ー	内灘らしさを活かしたスポットの充実 ①自然、眺望：日本海、砂丘、河北潟、山並み ②歴史：栗ヶ崎遊園、試射場、干拓事業、文化財、震災復興 ③暮らし文化：浅野川線、地域の祭、凧揚げ など	内灘らしさを活かしたスポットの充実には、本整備構想において重要と考えており、一層の充実に向けて検討していきます。
	ー	賑わい創出のための取り組み ①内灘駅再整備との連携 ②内灘駅周辺の賑わいづくり、魅力的店舗の誘致 ③総合公園との連携、温泉施設利用を強化する工夫	内灘駅周辺の整備については、鉄道事業者と協議しながら進めており、内灘駅から鉄板道路沿いに魅力的な店舗が必要と考えております。総合公園との連携等については、賑わい創出に必要と考え、総合公園を対象エリアに含めるようにいたします。

No.	ページ	提出された意見	町の考え方
	ー	災害復旧・復興の取り組みが軌道に乗ってくるタイミングで事業が本格スタートすると考える。	能登半島地震からの復旧・復興事業を最優先に取り組むとともに、本整備構想の対象となる各エリアの公共物管理者（所有者）等と段階的に協議し、可能な範囲から着手し事業を進めてまいります。
	ー	海岸、放水路の公共空間を活用したエリアマネジメントの手法により収益性を確保し、持続可能な経営となることが望まれる。	民間活力の活用も含めて、持続可能な事業について検討していきます。
5	ー	現行の防潮水門の道路はなくなるのか。新しい防潮水門の道路は使用できるのか。賑わい創出道路だけでは北部へのアクセスが途切れるので、防潮水門の道路は、内灘海岸から総合公園へと海岸に沿って南北をつなぐためのアクセス道路にすべきである。	現行の防潮水門（道路含む）は撤去されます。新しい防潮水門の管理用道路について、一般車両が通行可能となるように国・県に要望してまいります。
	ー	町指定文化財の「射撃指揮所跡」が内灘海岸南部にあり、「着弾地観測所跡」などが北部にある。射撃指揮所跡を整備して町の歴史をわかりやすく展示し、南部から北部への導入にするのが良い。アクティビティスポーツの合間に、「栗ヶ崎遊園」、「内灘闘争」、「火力発電所反対運動」など町の歴史について学ぶことができるようにし、また、歴史民俗資料館「風と砂の館」の充実を図ってほしい。	アクティビティスポーツだけでなく、皆様が町の歴史についても学ぶ機会を創出できるような工夫を検討していきます。
	ー	風力発電所が壊れているが、町のシンボルとして復活する見通しはないのか。	風力発電所は現在故障しており、修理や維持には多額の費用が必要となるため、解体も含めて検討しております。